

編集後記

1999年に第1号が発刊された技術報告は本年度第7号の発刊になり、大先輩方々が文書で残してくれた貴重な資料となって着実に歴史を刻んでいます。また報告書と並行して発行されている技術通信も、年に平均3回の発行で、技術職員の仕事に対する情熱が、文章となって残されることに喜びを感じるのです。

第7号の内容も盛り沢山で、特に定年を迎えられる潮岬風力観測所の河内さんには屋外の高所作業のノウハウについて体験談を基に安全面での注意などを教えてもらいました。今後の高所作業上での貴重なアドバイスとして後輩に引き継がれることでしょう。その他には熟年技術者のこれまで培って生きた机上、あるいはフィールド観測における成果も若手技術員をはじめ、技術室全員への良好な刺激となってフィードバックされることでしょう。トピックスでは若手技術員の専門的な技術習得の話や、研修における成果などもまとめられていますが、この報告書を手にされた方々にとりまして少しでもお役に立てたら幸いに思うところです。

貴重な時間をさいて投稿していただいた方々には勿論ですが、年度末の忙しい最中に決められた発行日にむけ、編集に当たられた企画情報班の方々に感謝の意を表します。最後に技術通信は目標の100号を達成した後も進行中ですが、同じようにこの技術報告が10号・20号と発刊されることを願って編集後記とします。

2006年3月 観測班 高山 鉄朗

《出版委員》

浅田照行	企画情報班
高山鐵朗	観測班
中尾節郎	企画情報班
平野憲雄	室長
藤原清司	機器運転班
松浦秀起	企画情報班
吉田義則	企画情報班
和田博夫	機器開発班

技術室報告

第7号

2006年3月 発行

発行者 京都大学防災研究所 技術室

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

Tel.0774-38-4290 Fax.0774-38-4291